

生誕140周年記念 竹久夢二と“かわいい”



“デザインの黎明期”

大正ロマンの寵児 京都アールデコ
夢二から小林かいち、中原淳一まで



2025年4月12日(土)～6月22日(日)

※休館日／毎週月曜日。但し5/5(月・祝)は開館
※入館時間／10:00～18:00(最終入館17:30)
※6/6,13,20は「ふらっとフライデー！サマーナイトミュージアム」(20:00迄開館、最終入館19:30)

入館料：一般1,000(800)円／高校・大学500(400)円／中学生以下無料

※()内は前売券、20名以上の団体割引、前売券料金

※「ふらっとフライデー！サマーナイトミュージアム17:30以降のご入館」

「お着物deおでかけ」割引料金

※その他各種10%割引あり

前売り券：i. JTBチケット取扱いのコンビニ各店にて販売

販売期間4/1(月)～4/11(金) i. JTB商品番号⇒〇〇〇〇〇

【主催】公益財団法人鷹山宇一記念美術振興会

【共催】青森放送株式会社／鷹山宇一記念美術友会の会

【企画協力】株式会社港屋、株式会社ひまわりや

【後援】青森県、青森県教育委員会、七戸町、七戸町教育委員会、七戸町文化協会

(一社)しちのへ観光協会、東奥日報社、デーリー東北新聞社、陸奥新報社

「お着物deおでかけ」

和服(着物、浴衣など)で
ご来館の方は入館料2割引

【作品】(上段)竹久夢二《エイプリル・フール》大正15年 オフセット印刷(下段右から)竹久夢二 千代紙(部分)《玉椿》大正3年 木版画／小林かいち《二號街の女》大正末～昭和初期 木版画 中原淳一『ひまわり』7月号表紙絵
© JUNICHI NAKAHARA / HIMAWARIYA

道の駅しちのへ「七戸町文化村」
七戸町立鷹山宇一記念美術館

〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94 TEL:0176-62-5858 FAX:0176-62-5860
<https://www.takayamamuseum.jp/>

語り継がれる展覧会を。

竹久夢二 Takehisa Yumeji



『夢二画集 花の巻』挿絵 明治43年

本展は竹久夢二の作品を中心に紹介し、日本が世界に誇る文化「かわいい」の黎明期に迫ります。大衆文化華やかな時代に生きた三人の芸術家たちの情緒豊かな作品をお楽しみください。

小林かいち(1896~1968)は、大正後期から昭和初期にかけての20年ほど、京都で絵封筒、絵葉書のデザインを手がけました。当時の最先端であったアール・デコのスタイルを取り入れたモダンなデザインは少女たちの熱狂的な支持を受けました。

竹久夢二(1884~1934)は、明治、大正、昭和を通じて一世を風靡しました。大正ロマンを代表する彼は、憂いを含んだ瞳の愛らしい「夢二式美人画」で当時の女性たちに人気を博しました。近年は美人画だけでなく、書籍や雑誌のデザイン性が注目され「グラフィックデザイン」の先駆者としてマスコミに取り上げられることが多くなり、若年層、特にアパレルやデザイン関連のクリエイターたちに再認識されています。



竹久夢二《湖畔の秋》昭和2年 オフセット印刷



竹久夢二 千代紙《大樹》大正3年 木版画



竹久夢二《夕残の夕月》昭和2年 オフセット印刷

中原淳一 Nakahara Junichi © JUNICHI NAKAHARA / HIMAWARIYA



中原淳一『そいゆ』No.31表紙 昭和29年



中原淳一『七人のお姫さま』口絵 水彩・インク 昭和43年

小林かいち Kobayashi Kaochi



小林かいち《彼女の青春》大正末~昭和初期 木版画 絵葉書



小林かいち 木版画 絵封筒

関連事業

■美術館あーっと!くらぶ
当館スタッフによるワークショップを企画しています。
詳細は随時ホームページでお知らせします。

■ふらっとフライデー! サマーナイトミュージアム
6月6日/13日/20日は20:00まで開館(最終入館19:30)

道の駅しちのへ「七戸町文化村」~語り継がれる展覧会を~
七戸町立 鷹山宇一記念美術館

〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94

TEL: 0176-62-5858 FAX: 0176-62-5860

<https://www.takayamamuseum.jp/>



ホームページ
QRコード

■グッズの販売

竹久夢二、小林かいち、
中原淳一の関連グッズ・書籍を
販売します。



【アクセス】
東北新幹線七戸十和田駅より
徒歩7分(道の駅しちのへ・七戸町文化村内)

